



©群馬県 ぐんまちゃん

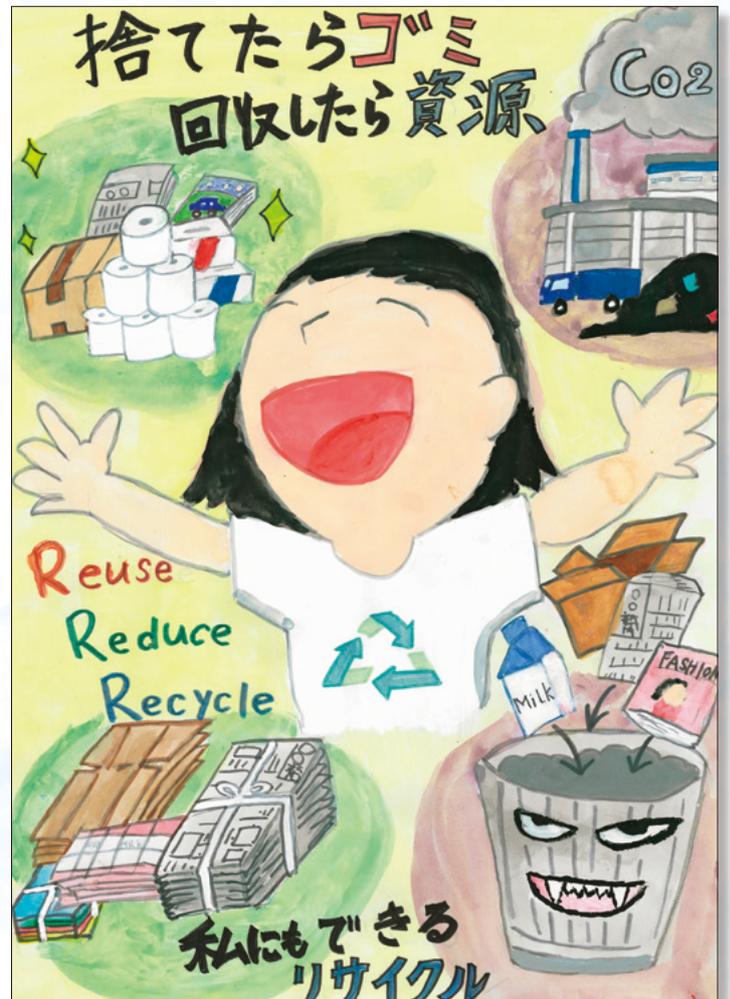
# ぐんま

# こども環境白書 2024

令和5年度3R促進ポスターコンクール入賞作品



伊勢崎市立赤堀南小学校4年生  
福田 夢来さんの作品



館林市立第六小学校5年生  
五十嵐 百花さんの作品

※学年は受賞当時

# はじめに

みなさんは「環境」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべますか。自然や動物、水などいろいろなことが出てくると思います。

環境とは、みなさんの身のまわりを取り囲んでいるすべてであり、わたしたちの生活とつながっているとても大切なものです。また、そこに関わるすべてのものが、お互いに影響をあたえあっています。

この「こども環境白書」は、みなさんに環境のことを知ってもらい、環境を守るためにどのようなことをしたら良いのか考えるための参考になればと思います、発行しています。

大切な環境について、この白書で学び、身近なところから行動してみましよう。

## も く じ

● 環境トピックス	3
● 地球温暖化のこと	4
● ごみのこと	10
● 自然のこと	15
● 水のこと	21
● 大気のこと	26
● おわりに	30
● 教師・保護者の方へ	31

### ●この本の見方

- 各項目では、今問題となっていることや、環境をより良くするためにできることを説明しているほか、より深く学習したい人のために、参考となる本やホームページなどを紹介しています。
- 学校での取り組みでは、環境活動を行っている県内の小中学校を紹介しています。みなさんが実際に活動する際の参考にしてください。
- 文の中で赤字になっている難しい言葉には、説明があります。
- 群馬県や環境省が発行している「環境白書」には、群馬県や日本の環境に関するデータがより詳しくのっています。これらはインターネットで見ることができますので、参考にしてください。

#### 【環境白書のホームページ】

群馬県 <http://www.pref.gunma.jp/04/e0110002.html>

環境省 <http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>



©群馬県 ぐんまちゃん



ぐんまの環境について学ぶ前に、最近の話題を知って、一緒にウォーミングアップをしよう！

## ●デコ活 (脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)

地球全体の問題である気候変動を解決するため、日本は、2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度から46%削減することや、2050年までにCO<sub>2</sub>の排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

その中で、家庭部門の削減目標は66%と、最も高くなっています。つまり、CO<sub>2</sub>排出量の削減目標を達成するためには、一人ひとりのライフスタイルを変えていくことが必要です。



出典：環境省

これらの実現に向けて、政府は2022年10月に、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」(愛称：デコ活)を始めました。デコ活では、より豊かで快適・健康的な生活により、2030年のCO<sub>2</sub>削減目標も同時に達成する新しい暮らしを提案しています。

みなさんも、できることから「デコ活アクション」に取り組んでみましょう。

## ●フードバンク、フードドライブ、未利用食品マッチングシステム

みなさんのお家には、お菓子や缶詰など、まだ食べられるのに忘れられて食品棚の奥にしまわれたままの食品はありませんか。そのままにしておくと、食品ロス(詳しくは13ページにあります)になってしまいます。

食品ロスを減らす手段の一つとして、フードドライブがあります。家庭で余っている食品を集めてフードバンク団体(食品の支援を必要とする人たちに届ける団体)に寄付する活動のことです。

また、食品製造会社などでも、箱がつぶれたりして、品質には問題がないのに売れない食品が発生します。このような食品を無駄にしないため、群馬県では「未利用食品マッチングシステム」を使って、食品関連事業者とフードバンク団体などを結びつける取り組みを進めています。

みなさんも、家庭で余っている食品を見つけたら、近くのフードバンク団体やフードドライブ活動をインターネットなどで探して、こうした取り組みに参加してみてください。

### ●寄付食品が支援が必要な人に届くまでの流れ

